

科 目 名	学年	期別・授業形態・単位数	教 員 名 学級担任
インターンシップ Internship	4 または	原則として夏季休業期間中・実習・ 1または2単位	研 究 室 内線電話 e-mail:
履修単位科目	5		
科目到達レベル：□1.知識・記憶 □2.理解 <input checked="" type="checkbox"/> 3.適用 □4.分析 □5.評価 □6.創造			
【授業目的】 一定期間、高等教育機関における研修、実習や企業等での就業体験をし、専門分野における知識・技術・業務に触れながら実務能力を深め、新たな学習意欲を高めることを目的とする。			
【Course Objectives】 Through employment experiences for a fixed period in a company, a public corporation or an organization of a local self-governing body (or a country), students study the manners as member of society, a sense of responsibility over work, an engineer's role and technical importance. Moreover, students raise their occupational consciousness and can tackle study with a strong awareness for a future employment.			
【到達目標】 ① 企業等における技術者の実務を理解できる。 ② 社会人（高等教育機関の学生）としての責任ある仕事（研究）の進め方を理解できる。 ③ 高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを理解できる。 ④ 企業人や研究者として活躍するために自身に必要な能力を考えることができ、それを高めようと努力する姿勢をとることができる。 ⑤ コミュニケーション能力や主体性等の「社会人が備えるべき能力」の必要性を理解できる。 ⑥ 実際の企業人等との仕事を通して自身のキャリアデザインを明確化することができる。 ⑦ 実務体験を企業や職種とのマッチングの場として考えて積極的な行動ができる。 ⑧ 研修先の地域で必要とされている技術者像を理解できる。			
【学習・教育到達目標】 (C) 修得した知識を統合し、製品やシステムを考案できる。			
【キーワード】 インターンシップ、ものづくり、工場実習 internship, making of things, factory practice		【授業時間】 8時間×5日以上＝40時間以上（1単位の場合） 8時間×10日以上＝80時間以上（2単位の場合）	
【授業方法】 原則として、夏季休業中に5日間以上または10日間以上、高等教育機関・企業等に向いて研修をする。 1. 「インターンシップ申込書」を学級担任に提出する。 2. 「インターンシップ説明会」に出席する。 3. 研修終了後、「インターンシップ実施証明書」、「インターンシップ報告書」を学級担任に提出する。 4. 研修内容を「インターンシップ報告会」で発表する。		【学習方法】 1. 研修プログラムは、受け入れ機関が指定する場合と、事前打ち合わせをする場合がある。 2. 経費については、打ち合わせ先に一任する（交通費あり／なし、宿舎あり／なし）。 3. 傷害保険に加入する。 4. インターンシップ報告会の資料作成のための自己学習を義務づける。	
【履修上の注意】 本校学生として恥ずかしくない態度で臨むこと、また、学習の一環であることを認識し取り組むこと。なお、4、5年それぞれで2単位まで、4、5年の二年間で高等教育機関、企業等それぞれ最大2単位まで履修可能である。		【科目の位置付け】 1. 先行して履修すべき科目 2. 後で履修する関連科目 3. 同時に履修する関連科目	
【定期試験の実施方法】 なし			
【成績の評価方法・評価基準】 到達目標と以下の項目に基づき、教務委員会で審議し、総合的に合否を判定する。 1. インターンシップ実施証明書の評価（実施機関による評価） 2. 実施学生が作成したインターンシップ報告書の評価（学級担任による評価） 3. インターンシップ報告会の評価（所属学科の3名以上の教員による評価）			

【教科書・教材等】			
【参考書・参照 URL 等】			
【授業計画】			
週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
	<p>原則として夏季休業中の5日間以上または10日間以上,海外を含む高等教育機関,企業,公団,地方自治体,国の機関等に出向き,受け入れ側(インターンシップ先)から提供されるテーマに基づいて実習・研修を行う。</p> <p>全体のスケジュールは以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インターンシップ先の希望調査(5月上旬) • インターンシップ先の決定(6月～夏季休業前) • インターンシップ説明会(7月中旬) • インターンシップ先での実習体験(夏季休業中の5日間以上または10日間以上) • インターンシップ報告書の提出(夏季休業明け1週間以内) • インターンシップ報告会(夏季休業明け2週間程度以内に実施) 	①～8	
【学生へのメッセージ】			
<p>インターンシップは技術者教育の一環として,学校で学んだ知識・技術を,他の高等教育機関,企業等で実際に実習等を体験するものである。</p> <p>体験を通して,今どのような技術が社会で必要とされているのか,そのためには何を学ぶべきか,また,実際に「ものづくり」の技や学術研究の一端に触れ,同時に自分の技術的・研究的センスを発見する絶好の機会である。さらには,将来に向けて,進路意識を高め就職・進学対策の一助と位置づけ,取り組むことを期待する。</p>			